

課目名:エステティック フェイシャル(クレンジング、マッサージ)

課目コード:F343

単位名:美容科 エステティック

1単位(30単位時間)

開講時期:1年(後期)

担当教員 :小林由佳 天羽里奈

●課目授業の目的と学生の達成目標:

トリートメント前にクライアントの肌を整え、完全な洗浄を行う。

顔、首、デコルテの拭き取りやマッサージの適切な粧剤を用いて施術する。

ベッドメイキングなどの技術前の準備から、技術中の正しい姿勢を習得する。

肌タイプ、状態に合わせた粧剤を選択する。

正しい選択をするために、肌タイプを査定する。

モデルの十分な心地良さに配慮しながら道理にかなった手順で手技により皮膚洗浄を行う。

手技によるマッサージを的確に行うために筋肉の知識、基本手技、リズム、力加減、及び制御された手の使い方を発揮できるような力をつける。

マッサージの定義。5つの基本手技(軽擦法、強擦法、揉捻法、打法、振動法、)マッサージの適応、禁忌、モデルの準備、粧剤選択

技術者の身だしなみ、望ましい座り方、姿勢

●成績評価の方法:

実技チェックテスト

●教材・ならびに教育方法:

教材・並びに教育方法:

専攻授業購入教材

共同購入粧剤使用

●特に必要な教育方法、講師、協力企業等:

●この課目の今後の展開

この課目の今後の展開:

CIDESCO試験対応

●備考

基本手技(クレンジング)10 時限

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1~2	4	フェイシャル基本手技理論(目的と効果・各手技の目的、適応肌、粧材の選択方法)	
3~4	4	相モデル実習(クレンジングクリームの塗布手順・のばし・クレンジング手順・コットン拭き取り・手指トレーニング)	
5	2	相モデル実習(マッサージクリームの塗布手順・のばし手順・手指トレーニング・軽擦法)	

●シューペリキュール 20 時限

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1~2	4	学科(マッサージの効果、目的、禁忌事項、心得)、E15 相モデル実習(クレンジング復習・・・)	
3~4	4	学科(マッサージテクニック)、相モデル実習(クレンジング復習・シューペリアルマッサージテクニック・No.1~No.6)	
5~6	4	学科(マッサージテクニック)、相モデル実習(クレンジング復習・シューペリアルマッサージテクニック・前回復習~No.7~No.13)	
7~8	4	学科(マッサージテクニック)、相モデル実習(クレンジング復習・シューペリアルマッサージテクニック・前回復習~No.14~No.20)	
9~10	4	学科(マッサージテクニック)、相モデル実習(クレンジング復習・シューペリアルマッサージテクニック・前回復習~No.21~No.23)	